

在校生～保護者～OB 世代間 交流プロジェクト

第20回「三世代をつなぐ駒カフェ」開催の報告

在校生対象の第20回「三世代をつなぐ 駒カフェ」は、2023年2月25日（土）13時から15時まで、第1会議室にて、対面で開催することができた。今回の「駒カフェ」は、初めて参加した生徒と以前にも参加したことがある生徒の合計12名（中3：3名、中2：5名、中1：4名）が参加した。いくつかのグループに分かれて、OBスタッフといっしょに会話をした。飲み物のペットボトル目当てで参加した生徒も、駒カフェスタッフと、駒場東邦の生活のこと、学校行事のこと、部活動のこと、勉強のこと、将来のことなどを生徒とスタッフがともに会話することができた。

「駒カフェ」への参加者は、いつもと異なる人々と会話することで、自分の考えていたことに自信が持てたり、新しい発想に気づいたりすることができたのではないかと思う。

参加生徒の感想

- ① ジュースおいしかったです。ボトルフリップも。今までに駒カフェに参加したことがある。
- ② ボトルフリップをしたり、炭酸をふって泡を出したりして楽しかった。今までに駒カフェに参加したことがある。
- ③ ジュースおいしいな～。ふるのがたのしかったです。今までに駒カフェに参加したことがある。ジュースの種類を増やしてほしい。



- ④ 学校の中での勉強や社会に出てからのことなどを分かりやすい例えを上げて説明して下さり、話も自分の体験をもとにして社会に出てから人生の中で大切なことを教えてもらい、勉強面でも様々な事を教えて下さったのでこれからの生活に役立てたいと考えた。また、これからは自分の知らない事をするために多くの人たちと関わっていきたいと思った。学内での配布物、友達の紹介、駒カフェスタッフからの声かけで参加した。とても良い話で素晴らしかったです。
- ⑤ 何気なく立ち寄ったが、OBの方々が、大人になって経験した僕らは経験しえないことについて、とてもフレンドリーに話してくださり、とても楽しかった。通りすがりの気まぐれで参加した。
- ⑥ 今回、初めて駒カフェに参加して、最初はどんな話をするのか興味がありました。しかし、駒東のOBの方々と話していくうちに、おもしろい話や自分が将来仕事についたり、しゅみを見つけたりすることは大事などのありがたい話を聞けて楽しかったです。友達の紹介で参加した。
- ⑦ OBの方々にたいへんありがたいお話を聞くことが出来て、良かったと思う。おかし、おいしかったです。学内の掲示物、友達の紹介で参加した。
- ⑧ OBの人は尊いと思っていたが、僕たちと同じ立場になって話してくれたので、うれしかった。また行きたいと思った。駒カフェ当日のスタッフからの声かけで参加した。
- ⑨ いろいろなことを話し合えて今まで思っていたことが納得できてよかった。駒カフェ当日スタッフからの声かけで参加した。
- ⑩ 普段、家族以外と話すことが少ないので、とても楽しかったです。僕のおじいちゃんと同年代の黒岩さんや音大に行った子をもつSさんとお話しました。ピアノを9年間続けてきて、その話をしたことがなく、又、家族以外と音楽の話もしたことがなかったので、とても貴重な時間でした。それとお菓子がおいしかったです。音楽で有名な方のお話を聞いて、音楽がより身近になりました。

ました。ピアノをもっとがんばろうと思いました。次回も来ます。駒カフェ当日のスタッフからの声かけで参加した。

- ⑪ 遅れての参加であったけれど、悩んでいた留学の話を相談することができてよかった。次回はオールで参加したいと思う。今まで駒カフェに参加したことがある、駒カフェスタッフからの連絡で参加した。
- ⑫ ひさしぶりに来たら、あいかわらず黒岩先生をはじめとする諸先輩方が非常に興味深い話をなさっていました。普段しりあうことがない二年生と意見交換できてよかったです。また参加します。ありがとうございました。今まで駒カフェに参加したことがある。開催案内を希望。

OB スタッフの感想

- ① 参加者は、以前も参加したことがある生徒も数名いたので、駒カフェでスタッフと話をしてみたいと感じていることがとてもうれしく思う。久しぶりの参加で、1年時から参加経験がある生徒とは近況を伝え合うことができた。年齢こそ離れているが、お互いに駒カフェで話をすることを楽しみにしている友人、仲間のように感じている。2年前と比較して、彼の内面が大きく成長しているので、これから先がもっと楽しみである。まだ、参加経験のない生徒諸君には、「駒カフェ」では、安心して自由に発言することができますので、「駒カフェ」で会話を楽しみましょう。お待ちしております。
- ② 本日は来てくれた生徒も多くて、とても賑やかなカフェだったように思います。中学でお世話になった先生にもご挨拶することができました。駒カフェに対してポジティブな思いを持ってくださっているようで、嬉しく思ったところです。本日の駒カフェは多くの生徒が来てくれました。声掛けに応じてくれた生徒もいれば、何をやっているのか興味を持って覗いてくれた生徒もいたようです。何のために勉強をするのか、将来必要の無い知識もあるのではないか、という疑問は多くの生徒が（駒東生に限らず）抱くものだと思います。“受験の為に”“周りがやっているから”、という

のも勿論一つの正解だと思いますが、この疑問は一人一人、自分なりの答えを見つけることが大切なのかなと思います。これからもこの疑問と向き合い続けて欲しいです。10分くらいならと入ってきてくれた生徒も、部活の時間ギリギリまで居てくれ、「いつやってるんですか？また来ます！」と言ってくれました。是非また遊びに来てくださいね。

- ③ 今回も賑やかな駒カフェになりました。当日のスタッフの声かけだけでなく、再訪の生徒がいたり、何かやっているのを前から気になっていたと覗きにきてくれたり、参加理由が様々になってきました。私が話した子は門まで見送った際にポスターの位置や日付の場所まで確認して帰りました。普段駒東生は宿題や課題などで忙しく過ごしているの、ポスターに気付かなかったようです。次回が保護者対象であることを残念がってくれていました。アンケートを集計しているとメールアドレスを記入してくれる子が増えているように感じます。お友達と誘いあって参加して一人がアドレスを記入している場合が多いので、次回案内を送る際にお友達のお名前も明記して「良かったら〇〇くんもお誘いしてくださいね」と付け加えると効果的かなと思いました。前はクッキーのリクエストがありましたが、今回はジュースの種類についてご意見を頂きました。今回はお菓子の種類も増えましたし、だんだんとカフェっぽくなってきたように感じます。

- ④ 今日は、中1と中3の生徒が来てくれました。中1の生徒とは、勉強について話をしました。「勉強する事は親から与えられた権利であり、それを義務と捉えない方が良い」とか、「ゲームとして捉えると面白くなる」とか、色々な体験を話していくと、勉強は、面白そうだと気がついてきたようでした。中でも興味を持ってくれたのは、「知らないという事を知らない」部分をいかに早く知るかという事、また、その重要性でした。話しきれませんでした。また、次回来てくれる事を期待しています。中3の生徒は、参加経験者でした。リピーターが増えていく事を期待しています。彼とは、留学について話をしました。今はチャンスは少ないかも知れませんが、今後いくらかでもチャンスはあるということ、そして、留学によって何を知りたいのか、グローバル化や多様性はなぜ

必要なのかなどのお話をしました。興味は深まったようでした。中1の生徒同様、次回来てくれることを期待しています。二人とも「来月も駒カフェはありますか?」と言って帰って行きました。

今日は、今までよりも深く入れた様な気がしました。初対面は序章であって、二回目からが第1章になるのでしょうか。「焦らず、弛まず」続けていけば大きな成果へとつながっていきそうな気がしました。

- ⑤ 第20回駒カフェは、当初、対応スタッフの数や事前エントリーの数などに関連して、どうなることかやや懸念を感じていました。しかし、実際は、駒カフェとはなにかをきちんと理解した上で、それなりの問題意識を持ち、自主的に参加してくれる駒東生が目立ち、正直、驚きました。その理由としては、20回開催というこれまでの実績や全校生徒へのパンフレットの配布などによって、ようやく駒カフェの位置づけが駒東生の中に浸透してきたためではないかと感じます。話しの内容も将来設計のことからゲームのこと、ガールフレンドのことなど踏み込んだ内容であり、若手スタッフのざっくばらんな話し方が効果的であったように思います。個人的には、勉強と学問の違いや自分を取り巻く状況を深く理解することの大切さといったことに素直に理解を示してくれる駒東生にやや感動しました。駒カフェがようやく駒東生の広く認知するところとなり、今後の充実対策として、スタッフの重層化や多様化、文化祭への参加といった対応を具体化していく段階に入ったように感じました。

- ⑥ 今回が対面で3回目の参加だと記憶しております。開始時刻に15分ほど遅れてしまったのですが、到着して驚いたのは既に複数のテーブルで輪が出来ており、一旦学生が少なくなった後も、途中から興味もって覗きにくる複数名の生徒さんもいた。初めて外で客引きすることなく、カフェの閉店を迎えました。少しずつですが認知度が上がっている気がします。最初の中1トリオは部活前でジュースが目当てか、炭酸飲料をひたすら振ってガス抜きする遊びを楽しそうに始めた。途中からボトルをふり投げて立たせるボトルフリップなる遊びも始めた。私の過去の炭酸遊びを語りつ

つ、噴射口と圧力の関係を話し、ボトルを立たせるにはどの角度で着地させるのが良いかなど、遊びの中からも発見があることが伝わったら良いなと思いました。後半は課題の息抜き？ に覗きに来た中2トリオとじっくりお話しできました。趣味の釣りや音楽、文化祭に向けた部活動、異性への憧れ、ゲームとの向き合い方、三者三様ですが思春期中で、勉強以外で自分のやりたい事を少しずつ持ち始めていることに頼もしいなと思いました。中年オヤジの経験談も交えて楽しくお話しさせてもらいました。いろんなことにチャレンジして、成功も失敗もして青春を謳歌してほしいですね。そして将来の自分像を描くヒントをたくさん見つけてもらえたらと思います。

⑦ スキー場で、予定していたWIFIが繋がらなかったため、残念ながら欠席となりました。感想文から、様子を想像しています。少し考えました。スキーを始めたのが60年前、スキーブームの40年間、道具も設備も変わった20年前。滑り方も、スキー学校の練習風景も、設備も大きく変わっています。スキージャンプのスタイルの変化は分かりやすいと思います。世代を超えて技術が継承されて、進化していると思います。今の中高生は、違和感なくスマホを使いこなして、高度な情報機器も使っています。そろばんや計算尺の授業は想像できますか。技術は、60年前とは全く異なっています。しかし、数学や国語を学ぶことは、変わりません。時代とともに生活環境は変化していますが、見る夢も異なるのでしょうか。悩みや迷いは、異なるのでしょうか。異なる地域との交流のように、異なる世代との交流も自己研鑽のヒントになると思います。次回は、同席できることを楽しみにしています。

⑧ 当日は父の七回忌でした。時のたつのは速いもの！ 会は盛況とのこと 良かったです。参加者が満足してくれること それが嬉しいです。またよろしく願いいたします。

⑨ 第20回駒カフェは、在校生対象のカフェ、足掛け2年の、準備段階の終業式のような気分で、迎えました。会場の設営、備品の準備など自然体で進行出来れば、今後も揺るがずに進展しそうな期待を持ちました！ 結果、オーライ！ 自覚としては、揺るがない理想のカフェが出現した実感

を持ちました。結末は、カフェの終了と同時に、何も考えずに自分の世界へ。その足で沼津、ヨットにでかけました。伊豆長岡のちょっと素敵なビアカウンターで、小銭をばらまいて、地ビールを二杯と nuts をつまんでいる内に、東邦の教授、ヨットのキャプテンがわたしを回収し、その日はのんだくれ、次の日、新人のクルーのお父さんにラットを握らせ、私は4年生の息子と日がな1日、駿河湾の雪の富士を眺めることができました。

- 駒カフェの開催報告をご覧になって、興味を持ち、参加してみようかと思われた方は、下記に記載の運営事務局までご連絡願います。次回以降の駒カフェ開催案内をメールで送らせて頂きます。
- 本校のホームページで、「駒カフェ」のバナーをクリックすると、駒カフェの情報を見ることができるようになりましたのでご覧ください。

【これからの予定】

3/11 (土) 13:00~15:00 第21回 駒カフェ (保護者対象) . . . 第1会議室



「三世代をつなぐ駒カフェ」運営事務局

代表 黒岩 誠 (駒場東邦7回生/前スクールカウンセラー)

平野 勲 (駒場東邦スクールカウンセラー/前校長)

連絡先 komacafe1540001☆gmail.com

☆を@に変えてください。

駒カフェ  でお会いしましょう!